

現代ビジネス学部
USUI Toshimasa
PROFILE
職名
現代ビジネス学部 都市環境デザイン学科教授 現代ビジネス学部長
学歴
京都大学大学院文学研究科 博士課程哲学専攻単位取得 後退学（1974）
学位
文学修士（京都大学、1971）
所属学会
日本哲学会、唯物論研究協 会、総合人間学会、大学評 価学会
専門分野
社会哲学（規範哲学）

## 碓井 敏正

うすい としまさ

**研究課題1●正義論（正義、公正）、権利論**

**研究課題2●貧困と格差の問題**

**研究課題3●生命倫理学**

**業 績**

**【著書】**

『近世の哲学者たち』／三和書房、1979年6月、共著。

『哲学を学ぶ人のために』／汐文社、1983年7月、共著。

『人間とは何か』／青木書店、1984年1月、共著。

『西洋哲学史概説』／有斐閣、1986年4月、共著。

『人間を考える』／新「学問のススム」1、法律文化社、1987年12月、共著。

『象徴天皇制―その思想的考察―』／白石書店、1989年11月、共著。

『現代哲学概論』／青木書店、1990年9月、共著。

『社会主義を哲学する』／大月書店、1992年5月、共著。

『自由・平等・社会主義―新しい社会編成の原理を求めて』／文理閣、1994年8月、単著。

『戦後民主主義と人権の現在』部落研ブックレット18／部落問題研究所、1996年6月、単著。

『日本的平等主義と能力主義、競争原理―新たな連帯は可能か?』／京都法政出版、1997年10月、単著。

『「自由主義史観」の本質』／「自由主義史観の意味するもの―自閉したナショナルリズムの虚構を批判する」、部落問題研究所、1997年11月、共著。

『現代正義論』／青木書店、1998年7月、単著。

『大学危機と非常勤講師運動』／4章「日本型組合、非常勤講師組合、社会的公正」おわりに「大学講師運動の可能性」、こうち書房、2000年3月、共著。

『国境を超える人権』／三学出版、2000年4月、単著。

『グローバリゼーションと市民社会―国民国家は超えられるか』／文理閣、2000年11月、望田幸男氏との共編著。

『増補改訂版 戦後民主主義と人権の現在―グローバル化の中で―』／部落問題研究所、2001年4月、単著。

『ポスト戦後体制への政治経済学』／『「能力主義」社会の規範哲学序説」「日本型戦後教育体制の変容と転換」、大月書店、2001年5月、大西広氏との共編著。

『「共生」思想の探求』／青木書店、2002年9月、共著。

『倫理学』／星城大学出版、2002年9月、共著。

『教育基本法「改正」批判 21世紀における教育理念の創造』／文理閣、2003年1月、編著。

『文化政策学の展開』／「教育政策の新たな変貌と教育の新たな可能性」、晃洋書房、2003年3月、共著。

『道徳を問い直す』／水曜社、2003年4月、共著。

『地域社会と人権』／文理閣、2004年3月、共著。

『グローバル・ガバナンスの時代へ―ナショナルリズムを超えて』／大月書店、2004年5月、単著。

『地球温暖化防止の課題と展望』／法律文化社、2005年3月、共著。

『環境思想キーワード』／青木書店、2005年5月、共著。

『文化によるまちづくりと文化経済』／晃洋書房、2006年3月、共著。

『グローバリゼーションの権利論』／明石書店、2007年1月、単著。

『格差社会から成熟社会へ』／大月書店、2007年9月、大西広氏との共編著。

『閉塞を破る希望』／本の泉社、2008年1月、共著。

『人生論の12週』／三学出版、2008年4月、単著。

『格差とイデオロギー』／大月書店、2008年12月、単著。

『成熟社会における人権、道徳、民主主義』／文理閣、2010年12月、単著。

**【論文】**

「デカルト的人間主義とキリスト教的敬虔の立場」／『唯物論』7号、汐文社、1977年3月、単著。

「スピノザの自然権思想と私的倫理」／『橘女子大学研究紀要』第7号、1980年3月、単著。

「マルブランシュにおける心身問題の諸相」／『橘女子大学研究紀要』第8号、1981年5月、単著。

『「核兵器と人間の倫理」を読む』／『科学と思想』3月号、新日本出版社、1987年3月、単著。

「産業革命の論理と非合理主義の哲学―中村雄二郎氏の所説を分析する」／『唯物論研究年報』3、白石書店、1988年5月、単著。

「現代唯物論の課題―非合理主義思想の批判と新しい合理性概念―」／『日本の科学者』23巻9号、水曜社、1988年9月、単著。

「アカデミズムとジャーナリズム―その本質と可能性―」／『思想と現代』17号、白石書店、1989年3月、単著。

「市場原理と社会主義―社会主義の新しい可能性を求めて―」／『思想と現代』27号、白石書店、1991年10月、単著。

「F．フクヤマ氏はいかに『歴史を終わら』せるか?」／『文化評論』377号、1992年6月、単著。

「市場社会主義かエコ・フェミ社会主義か」／『唯物論と現代』15号、文理閣、1995年4月、単著。

「オウム真理教と科学的思考」／『学習の友』9月号505、1995年9月、単著。

「市場原理とフェミニズム―フェミニズムの新しい理論展開のために―」／『女性史学』6号、1996年7月、単著。

「正義論の問題状況」／『阪南論集』32巻4号、阪南大学学会、1997年3月、単著。

「日本社会の変動と労働組合運動の可能性」／『唯物論と現代』19号、文理閣、1997年7月、単著。

「福祉国家の光と影」／『経済科学通信』88号、基礎経済科学研究所、1998年11月、単著。

「女性の人権」／『部落問題』141号、岡山部落問題研究所、1999年8月、単著。

「市民社会、国民国家、グローバリゼーション」／『経済科学通信』91号、基礎経済科学研究所、1999年12月、単著。

「可能性としてのグローバリゼーション」／『日本の科学者』vol.35、6月号、水曜社、2000年6月、単著。

「社会システム論の保守性と社会発展のダイナミズム」／『経済』12月号、新日本出版社、2000年12月、単著。

「平等と人権、21世紀の課題」／月刊『部落問題』289号、部落問題研究所、2001年1月、単著。

「保守ナショナルリズムは21世紀にふさわしい公民教科書をつくりえたのか」／『部落』第53巻第10号、部落問題研究所、2001年9月、単著。

「グローバル化とイスラム・テロリズム」／『経済科学通信』98号、2002年4月、単著。

「from political symbiosis to exchangeable symbiosis」／『Foreign Sociology』、2002年、単著。

「地域運動の可能性―発展的転換のために―」／『月刊 解放の道』224号、2002年9月、単著。

「社会主義市場経済に未来はあるか?―社会主義国際シンポジウムに参加して」／『Q U E S T 』No.23、2003年1月、単著。

「教育権と発達概念の再検討」／『障害者問題研究』32巻3号、2004年11月、単著。

「国民国家と人権」／『哲学』56号、2005年4月、単著。

「評価と配分の哲学」／『現代社会と大学評価』、2005年5月、単著。